

かながわの遺跡展「縄文と弥生」特別講演2

2019年12月15日

弥生文化三題話

—神奈川から中国まで—

東京大学大学院人文社会系研究科
設楽博己

今日の三題

- ◎ 農耕のはじまりはいつか
—レプリカ法の成果から—
- ◎ 壺形土器への着目
- ◎ 土偶の変容
—中屋敷遺跡の土偶形容器から考える—

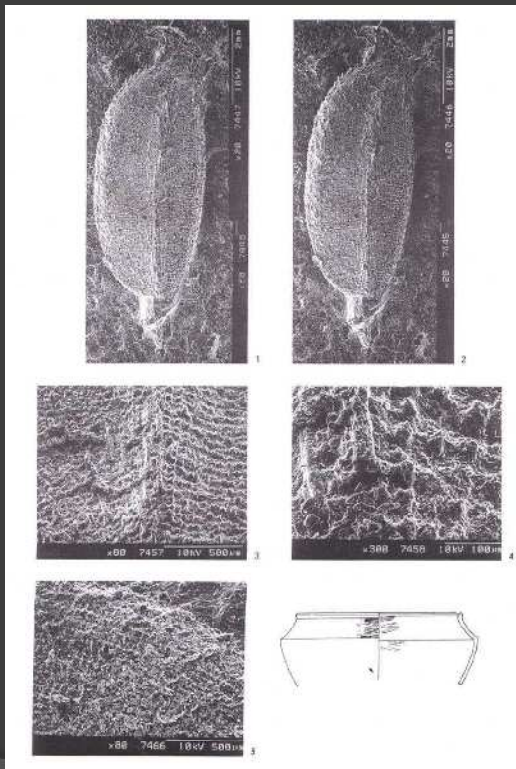
縄文時代にも農耕はあった...が

- ◎ 早期のヒョウタンやアサ
- ◎ 中期のダイズ・エゴマ
- ◎ シソやゴボウなど、嗜好品が中心
- ◎ 縄文時代前期に稲作があるという→プラント・オパールによる→本当か？

レプリカ法の意義と条件

- ◎ 混入のおそれがない
- ◎ 土器の年代が確かなら、その時期に存在していたことも確か
- ◎ 植物学者によるシビアーな同定が肝心

レプリカ法によるイネの圧痕



長野県飯田市石
行遺跡

土器は縄文時代
晩期終末

イネの表面の果粒
状組織が鮮明

中沢道彦・丑野毅『縄文時代』9

日本列島の穀物栽培の起源

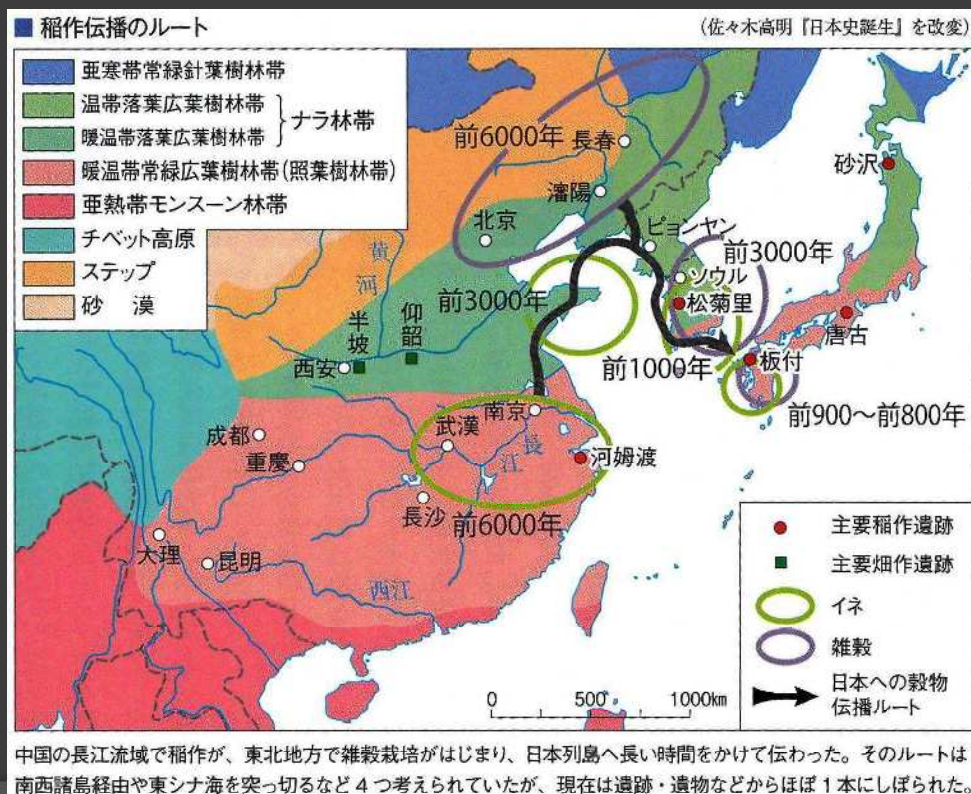
	九州	中国	近畿	東海	中部高地	
縄文 晩期	長行Ⅰ式	前池式	滋賀里Ⅳ式	西之山式	佐野Ⅱa式	
弥生 早期	夜臼Ⅰ式	津島岡大式	口酒井式	馬見塚F式	佐野Ⅱb式	縄文 晩期
	夜臼Ⅱ式	沢田式	船橋式	五貫森式	女鳥羽川式	
弥生 前期	板付Ⅰ式	遠賀川式古	長原式・遠賀川式古	馬見塚式	離山式・氷Ⅰ式古	
	板付Ⅱa式	遠賀川式中	遠賀川式中	樗王式・遠賀川式中	氷Ⅰ式中・新	弥生 前期
	板付Ⅱb・c	遠賀川式新	遠賀川式新	水神平式・遠賀川新	氷Ⅱ式	

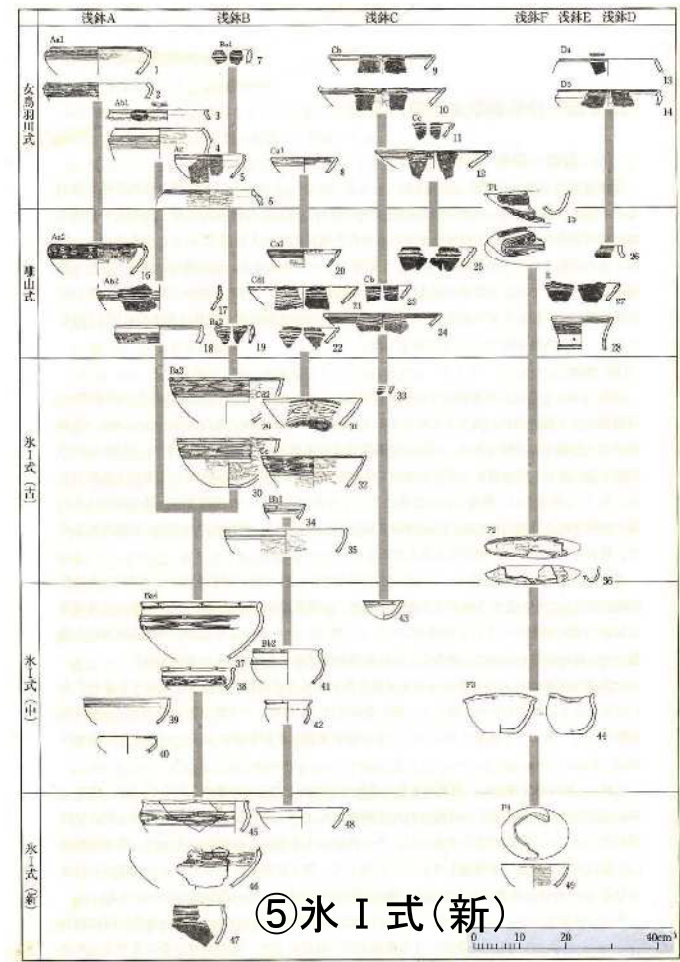
○ イネ ○ アワ・キビ

レプリカ法の成果

- ◎ 日本列島の穀物の出現は、縄文時代晩期終末
- ◎ 紀元前8～前4世紀
- ◎ イネと雑穀（アワ・キビ）がほぼ同時に出現

イネと雑穀の来た道2





浮線網状文土器の編年

③ 女鳥羽川式

④ 離山式

秦野市
菖蒲内開戸遺跡

④ 氷Ⅰ式(古)

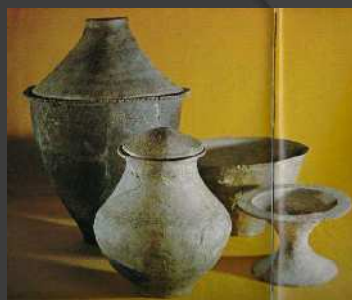
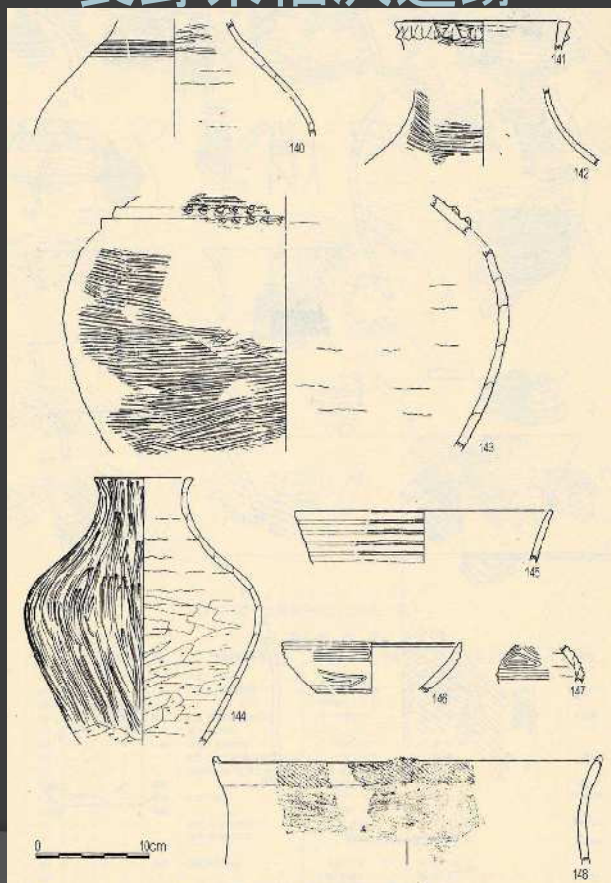
横浜市
新羽浅間神社遺跡

⑤ 氷Ⅰ式(中)

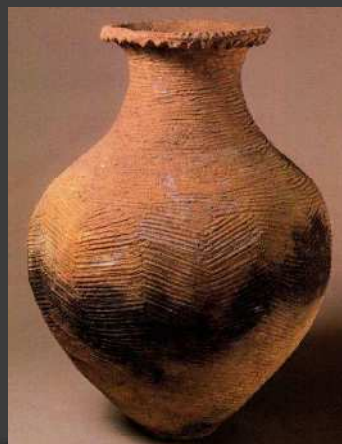


⑥ 氷Ⅱ式併行

長野県福沢遺跡

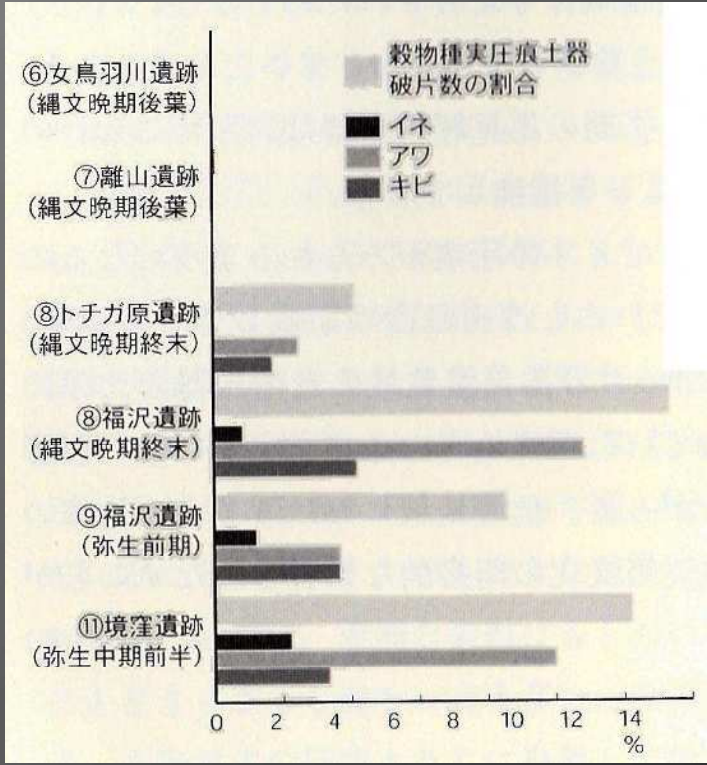


遠賀川式土器
(大阪府安満遺跡)



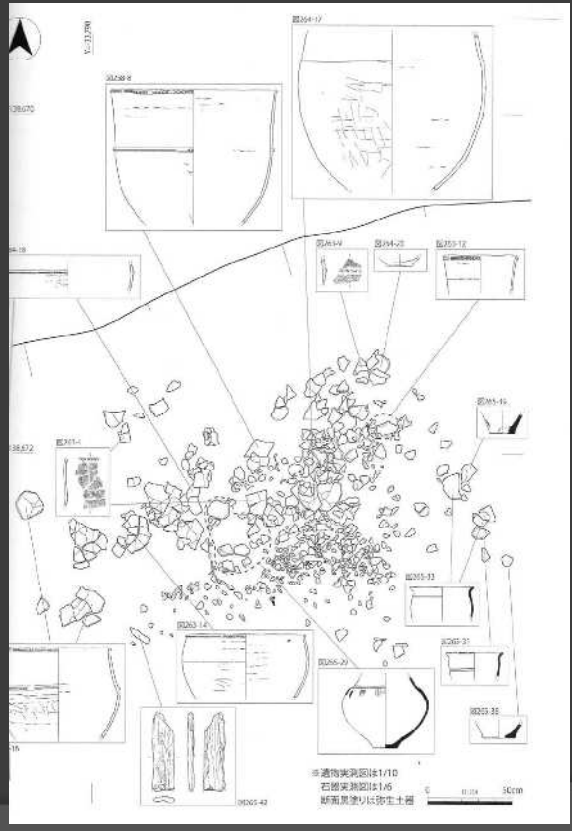
条痕文系土器
(群馬県上ノ久保遺跡)

長野県の圧痕穀物比率の推移

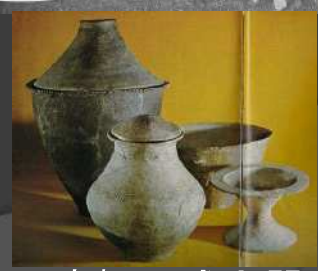


- 第1の画期: 雑穀の出現と増加 (晩期末)
- 第2の画期: イネの出現 (弥生前期)
- 第3の画期: イネの増加 (弥生中期)

大阪府讚良郡条里遺跡

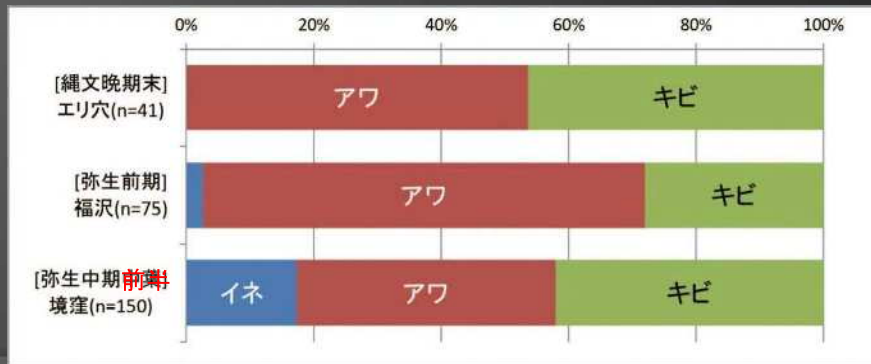
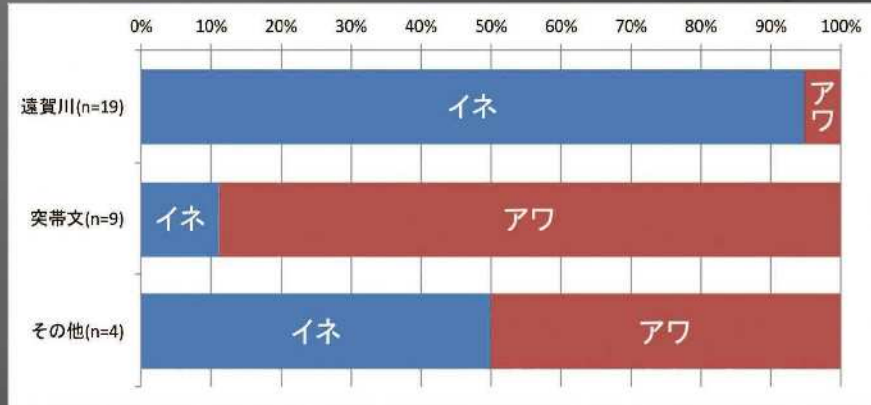


突帯文土器 (長原式土器)



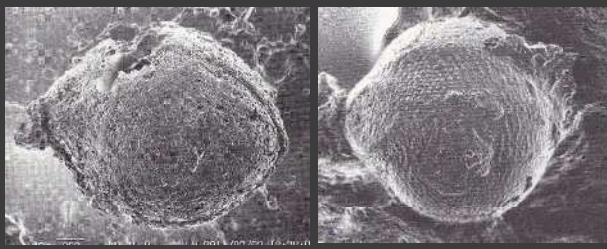
遠賀川式土器

讚良郡条里遺跡の土器圧痕穀物比率



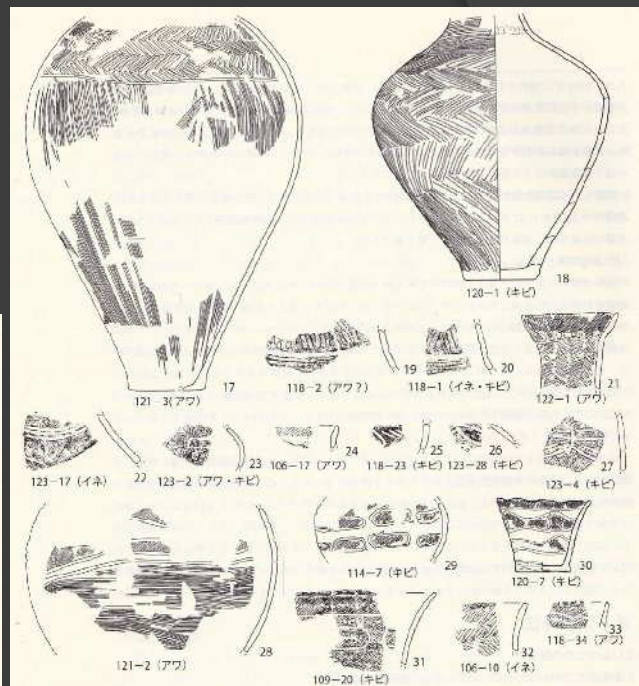
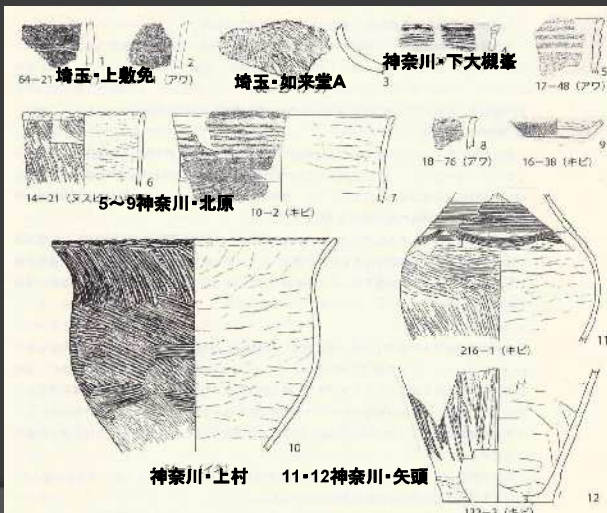
福沢遺跡

西関東の穀物圧痕



キビ(北原7)

アワ(中野谷原23)



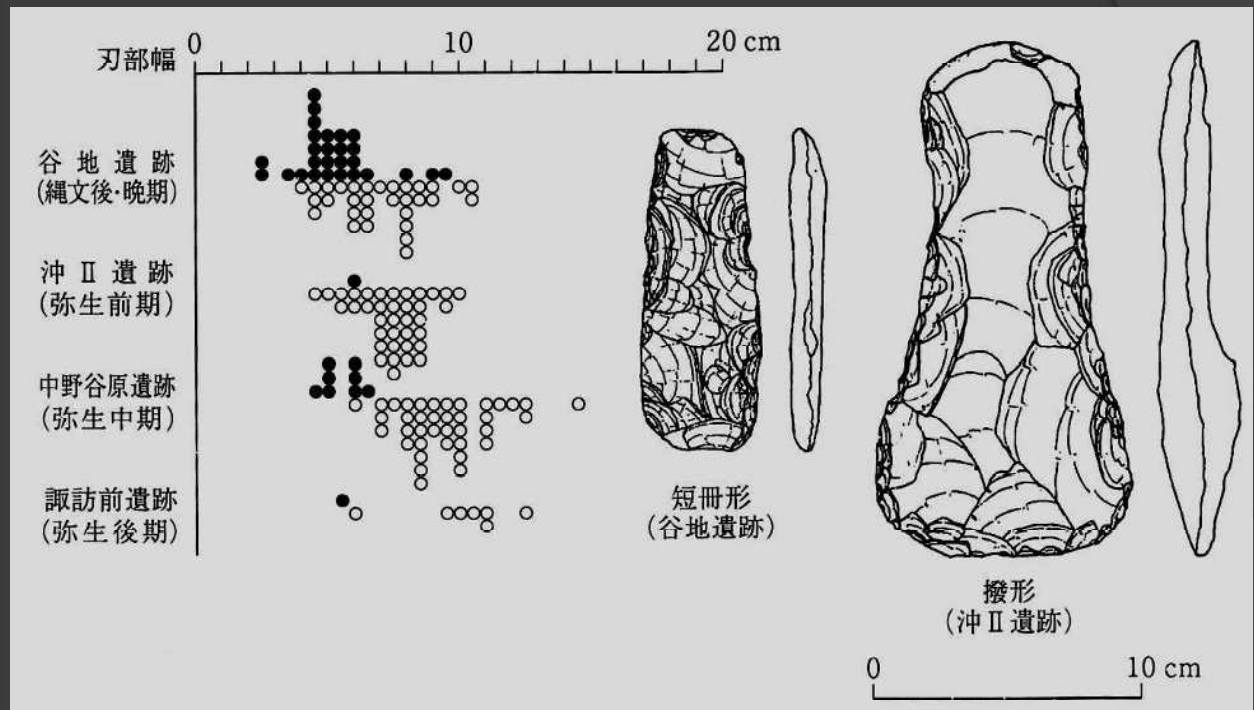
群馬・中野谷原(弥生中期)

神奈川(縄文晩期終末~弥生前期)

圧痕穀物の推移の比較



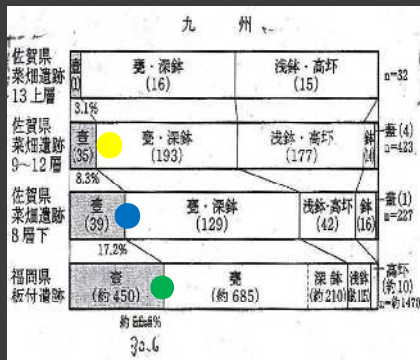
農具1 打製土掘具の形態と大きさ



群馬・中野谷原遺跡(弥生中期前半)

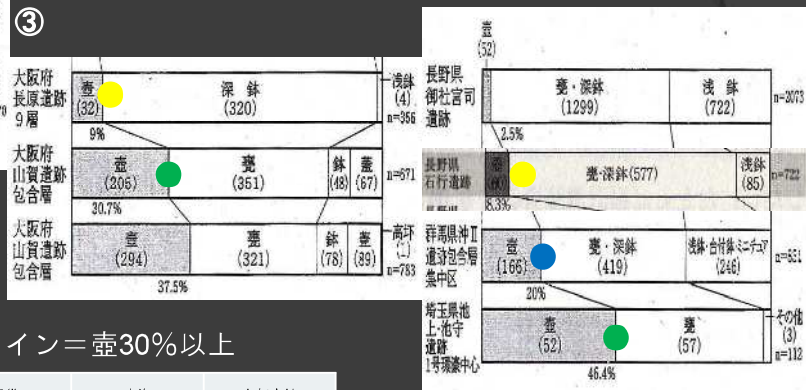
中部高地・関東地方の 穀物栽培の開始と画期

- 近畿地方：突帯文土器（縄文系）＝雑穀／遠賀川式土器＝イネの傾向
- 第1の画期：雑穀の出現と増加（縄文晩期終末）＝突帯文土器—一条痕文土器の影響
- 第2の画期：イネの出現（弥生前期）＝遠賀川式—一条痕文土器の影響
- 第3の画期：イネの増加（弥生中期）＝遠賀川文化の伝統
- 石器が農具へと変化
- 縄文時代と弥生時代の区分は？



壺形土器の比率変化

—三つの画期—



西日本

- 突帯文期＝壺10%程度
- 雑穀メイン＝壺20～30%
- 板付I式・遠賀川式・水稻メイン＝壺30%以上

	九州	中国	近畿	東海	中部高地
①	長行I式	前池式	滋賀里IV式	西之山式	佐野IIa式
②	夜白I式	津島岡大式	口酒井式	馬見塚F式	佐野IIb式
③	夜白II式	沢田式	船橋式	五貫森式	女鳥羽川式
④	板付I式	遠賀川式古	長原式・遠賀川式古	馬見塚式	離山式・水I式古
⑤	板付IIa式	遠賀川式中	遠賀川式中	櫻王式・遠賀川式中	水I式中・新
⑥	板付IIb・c	遠賀川式新	遠賀川式新	水神平式・遠賀川新	水II式

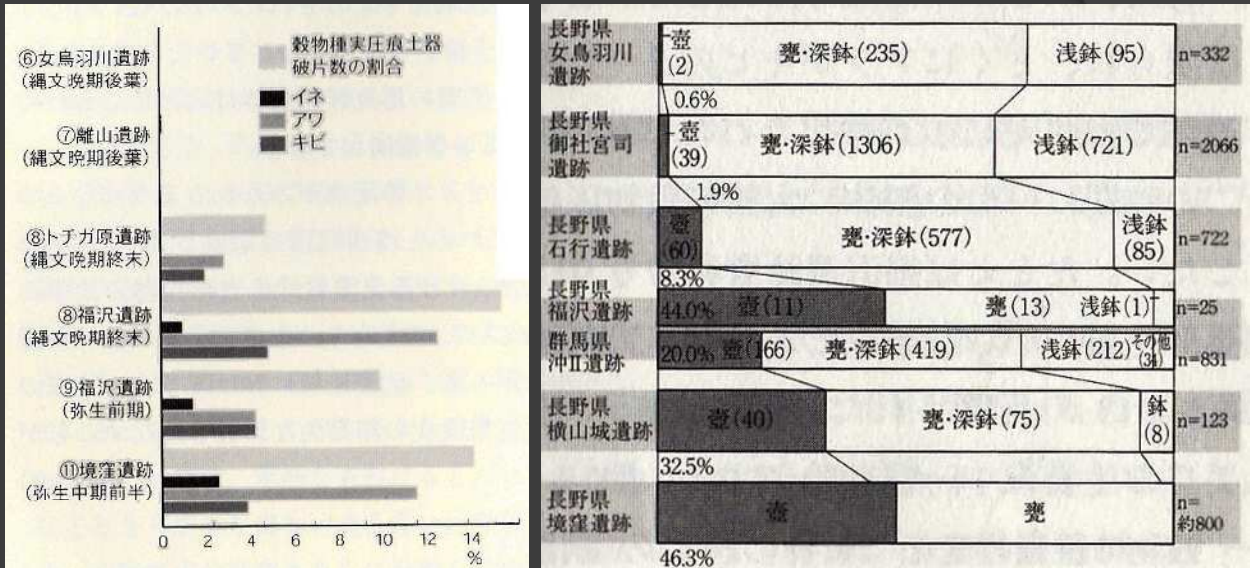
縄文時代晩期

(浮線網状文土器)

弥生時代前期

弥生中期中葉

信濃地方の穀物と壺の推移



- ◎ 縄文時代晩期終末に10%＝穀物の増加
- ◎ 弥生前期に20%＝イネの出現と雑穀増加
- ◎ 弥生中期に30%以上＝イネの増加
- ◎ 穀物の増加と壺の増加がシンクロ

壺形土器の比率変化

- ◎ 壺形土器比率の三つの画期
- ◎ 第1の画期10%＝穀物栽培の開始と定着
(弥生早期・縄文晩期終末突帯文土器・浮線網状文土器)
- ◎ 第2の画期20%＝雑穀の比率増加 (弥生早・前期条痕文系土器)
- ◎ 第3の画期30%以上＝水田稲作の定着とその影響 (遠賀川式土器・中期条痕文系土器)
- ◎ 各地で壺比率増加が時期差あるも相似的

3 神奈川県中井町 中屋敷遺跡の発掘調査

中屋敷遺跡の発掘



台地十小さな谷

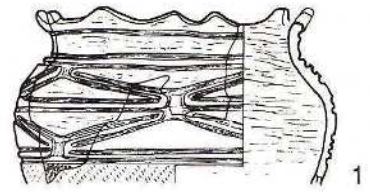
昭和女子大『中屋敷遺跡』

土坑と炭化穀物の出土

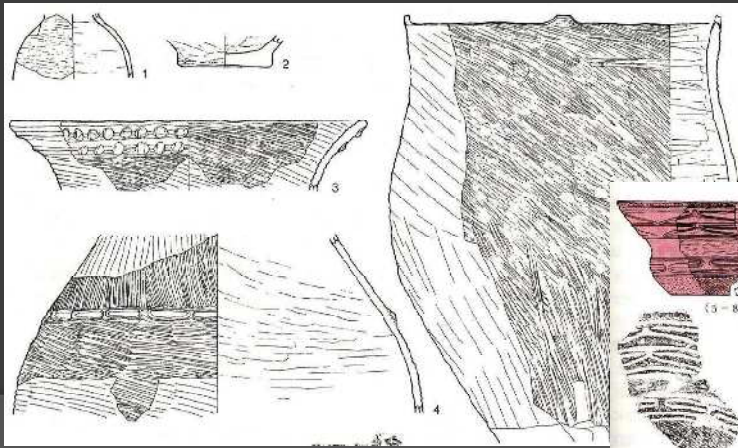
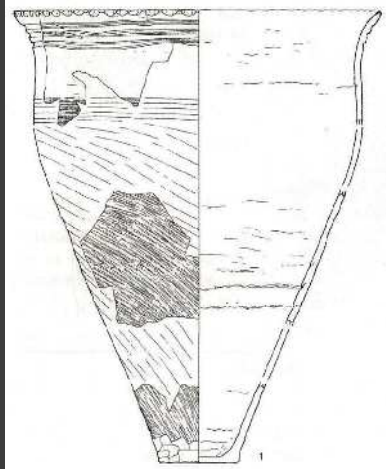


昭和女子大『中屋敷遺跡』

中屋敷遺跡の土器



1



(5-8-9-11号)



2 (5号-9号)



4 (2号-4号)



(5-8-9-11号)



2'



3 (5号-9号)

中屋敷遺跡の特徴

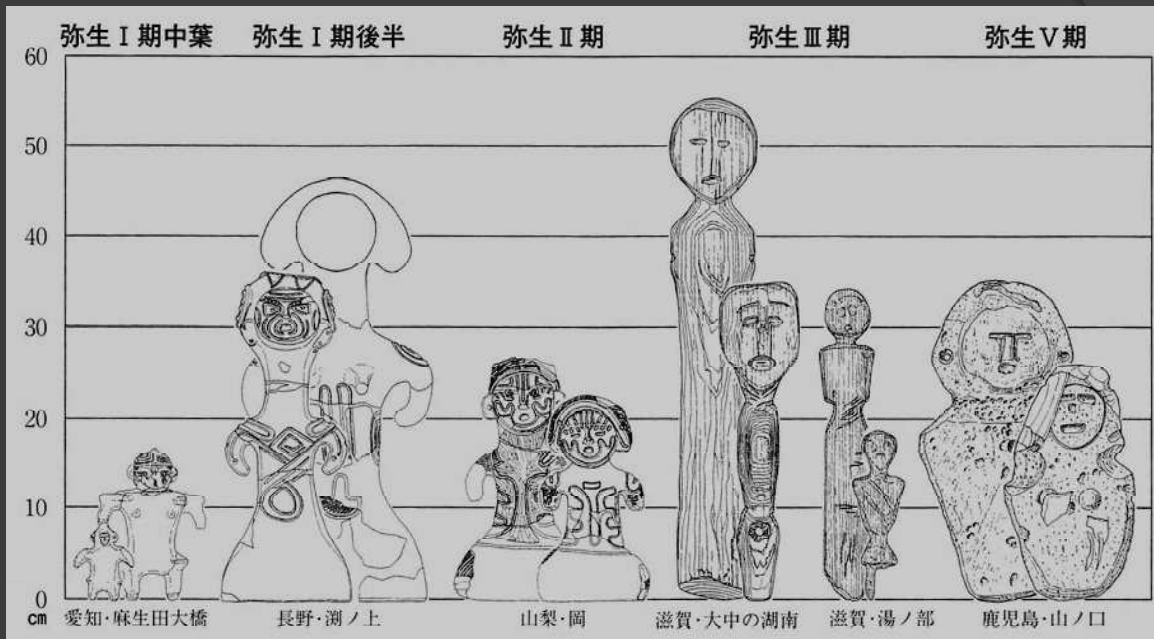
- ◎ 台地上の遺跡＋小さな谷
- ◎ イネ約300粒＋アワ約1000粒（重量換算）
- ◎ 年代測定＝BC400年代＝弥生前期
- ◎ 条痕文系土器の影響強い
- ◎ 壺形土器約20%
- ◎ 第2の画期相当＝雑穀栽培＋谷水田

4 土偶はようになったのか



中屋敷遺跡の
土偶形容器

男女像の大きさの変化



設楽博己2007「弥生時代の男女像—日本先史時代における男女の社会的関係とその変化—」『考古学雑誌』91 - 2

千葉県新田野貝塚出土の貝殻と魚骨の比較の変化



		縄文前期	縄文前期
二枚貝	オキシジミ	46	0.36
	ヤマトシジミ	42	99.51
	その他	11.67 (%)	0.13 (%)
魚類	スズキ	42.35	36.22
	クロダイ	25.83	18.11
	ボラ	22.52	33.86
	その他	9.30 (%)	11.81 (%)

- 二枚貝は縄文中期に汽水産へと変化するが魚類はひきつづき内湾の海の魚である
- 男女の性別分業を知る手がかりとなる

縄文時代の性象徴

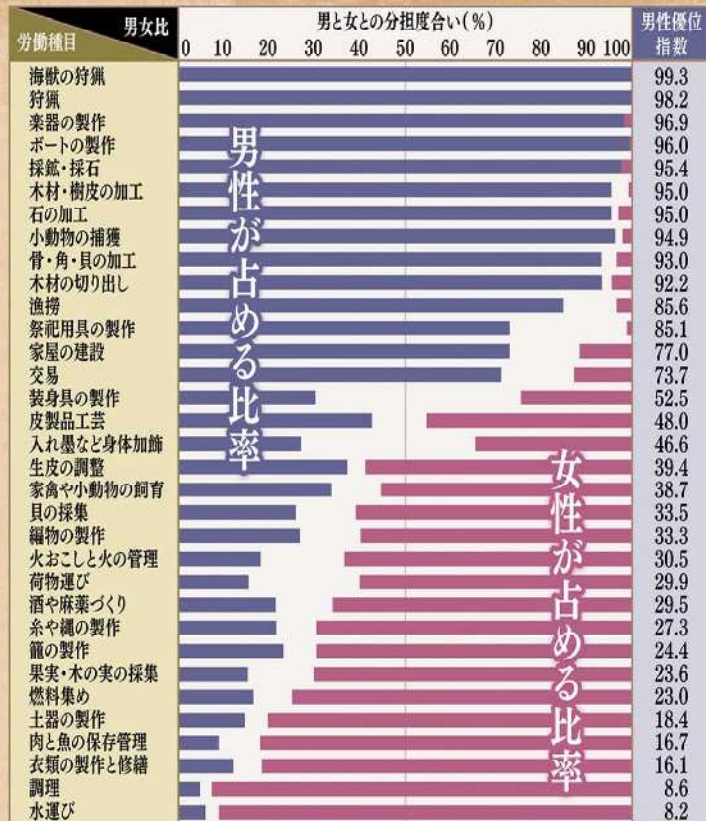
- ◎ 男性—狩猟—狩猟具としての打製石器—石を用いた石器づくり—リダクション—死—石棒—副葬品—祖先—ハード



- ◎ 女性—採集—調理具としての土器—年度を用いた土器・土偶づくり—プロダクション—生—副葬品はまれ—ソフト

前近代社会の性別分業

労働の性別分業



男女像の成立

- ◎ 縄文土偶は成熟した女性像
- ◎ 弥生時代に男女像へ
- ◎ 縄文時代は採集狩猟経済＝男女別分業
- ◎ 弥生時代は農耕の時代＝男女協業
- ◎ 農耕文化が土偶を変えた

農耕文化複合の視点から

—Agricultural Culture Complex—

- ◎ 穀物と農具＋土器組成＋土偶形容器
- ◎ 構造論的視点
- ◎ 考古文化＝サブシステムによるシステム
- ◎ ①穀物がメジャーフード
- ◎ ②壺が20%
- ◎ ③農耕文化による儀礼の変化
- ◎ 中部・関東地方は在来文化を基調に突帯文文化—遠賀川文化—条痕文文化の影響によって弥生時代前期後半に達成